



吉川 淑子 議員

子育て支援

「病児対応型」自園以外の受け入れ

第一保育所と来年度実施に向け協議

質問 子育て支援対策について、次の2点を問う。

- ① 「民間保育所の病児・病後児保育事業（自園型）への支援をしてきたが、平成21年度から『病児対応型』として自園以外の児童受け入れができるよう支援を拡充する」とあるが、具体的に説明せよ。
- ② 「放課後児童クラブを4カ所に拡大する」とある

が、どの地区を選定したのか。

沼崎町長

① 保護者が就労などの理由により、子供が病気の際に家庭での保育が困難な場合があるため、保育所で病中・病後の児童を緊急一時的に受け入れ、保護者が安心して就労及び子育てができるよう支援するものである。受け入



山田町第一保育所の病児・病後児専用の保育室

町の考えを聞く

れ園の山田町第一保育所では、感染防止のための専用保育室などの整備を終え、看護師1人を配置

し、自園の児童を対象とした事業を本年度4月から行っているが、来年度からは、自園以外の児童まで受け入れ対象を拡大するため協議している。② 4カ所目の放課後児童クラブの選定については、地域のニーズや通所距離などを勘案した上で決定したい。

学校給食 ランチボックス制度の問題・課題 注文数把握と委託業者選定

質問 「ランチボックスを平成21年度の実施を目指す」とあるが、現時点での方向性と最大の問題点・課題は。

沼崎町長 学校給食のランチボックスについて、先進事例を研修するため、釜石市の教育委員会、給食センター、唐丹中学校、釜石中学校を視察訪問し、その後

も電話などで随時情報を得ながら調査研究をしている。内容は、保護者意向調査、弁当箱等備品購入、配膳室

の選定と改修工事、委託業者選定のための諸条件などである。また、弁当箱の見本を取り寄せて、その機能性、材質などの調査研究もしている。

現時点では、これらの事項を研究して、平成21年度の実施を目指している。しかし、実施するための最大の問題点・課題は①注文数の確な把握②委託業者の選定などであり、慎重に調査研究しなければならないものと考ええる。